



令和4年度予算がスタート

八街市議会3月定例会に上程していた令和4年度予算が3月17日(木)に可決・成立しました。

当初予算については、厳しい財政状況を認識した上で、限られた財源の有効活用を図るため、施策の厳選化と重点化を徹底した、歳入に見合った規模の通年型予算として編成しました。

財政課

☎ 4 4 3 - 1 1 1 7

<令和4年度会計別予算規模>

◎一般会計

236億9000万円（対前年度比7.5%増）

一般会計とは、市の基本的な行政を行うための会計です。

◎特別会計

141億2933万7千円（対前年度比0.7%増）

特別会計とは、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理する必要があるときに設ける会計です。当市には、次のような会計が設けられています。

○国民健康保険

84億4361万7千円（対前年度比0.9%増）

国民健康保険税や県支出金、一般会計からの繰入金が主な財源で、被保険者の疾病、負傷、死亡、出産などに際し、必要な保険給付を行います。

○後期高齢者医療

7億7003万4千円（対前年度比4.4%増）

後期高齢者医療保険料や一般会計からの繰入金が主な財源で、75歳（一定の障害のある方は65歳）以上の方の医療費給付を行う千葉県後期高齢者医療広域連合に対し、収納された保険料などの納付を行います。

○介護保険

49億1568万6千円（対前年度比0.2%減）

介護保険料や支払基金交付金、国及び県支出金、一般会計からの繰入金が主な財源で、被保険者の要支援、要介護度に応じて、必要な保険給付を行います。

◎企業（水道事業）会計

14億7777万7千円（対前年度比6.8%増）

水道使用料、県支出金、企業債、一般会計からの出資金や補助金が主な財源で、市民の皆さんに安全で安心な水の供給を行います。

◎企業（下水道事業）会計

11億4227万9千円（対前年度比8.1%減）

下水道使用料、国庫支出金、企業債、一般会計からの負担金や補助金が主な財源で、公共下水道（汚水・雨水）施設の整備および維持管理を行います。

※企業会計とは、市が企業として経営する事業の会計です。



一般会計当初予算額の比較

<歳入>

<歳出>

（単位：千円）

区 分	令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	比 較	区 分	令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	比 較
市税	7,439,432	7,294,370	145,062	議会費	208,438	209,284	△ 846
地方譲与税	172,000	170,000	2,000	総務費	2,215,774	1,894,573	321,201
地方消費税交付金	1,608,000	1,468,000	140,000	民生費	10,123,566	10,013,073	110,493
地方交付税	4,285,000	3,930,000	355,000	衛生費	3,785,153	2,496,085	1,289,068
分担金及び負担金	102,784	103,081	△ 297	農林水産業費	261,645	284,512	△ 22,867
使用料及び手数料	253,712	253,516	196	商工費	134,517	127,975	6,542
国・県支出金	5,807,045	5,602,962	204,083	土木費	1,228,653	1,283,114	△ 54,461
繰入金 ※1	756,682	573,554	183,128	消防費	1,336,873	1,352,100	△ 15,227
諸収入	505,738	429,824	75,914	教育費	2,433,329	2,368,195	65,134
市債 ※2	2,365,600	1,826,800	538,800	公債費 ※3	1,908,141	1,933,157	△ 25,016
その他	394,007	377,893	16,114	その他	53,911	67,932	△ 14,021
合 計	23,690,000	22,030,000	1,660,000	合 計	23,690,000	22,030,000	1,660,000

※1 繰入金とは、年度間の財源の均衡を図るために積み立てておいた基金から繰り入れるお金をいいます。

※2 市債とは、建設事業などを行うときの財源とするために国や銀行などから借り入れるお金をいいます。

※3 公債費とは、借り入れた市債の元金と利子を返済するお金をいいます。

令和4年度の主な事業は2ページで紹介します。